

せせらぎみつせ

【発行】 佐賀市立三瀬公民館 〒842-0301 佐賀市三瀬村三瀬 2762-2 ☎0952-56-2003 ✉kmitsuse@city-sagaki.jp
令和3年8月末現在 人口:1,195人 男:580人 女:615人 世帯数:479世帯

三瀬村青少年育成村民会議

令和3年度「佐賀市青少年健全育成に関する標語」の選考結果

本年6月、佐賀市青少年健全育成連合会主催「青少年健全育成に関する標語」の募集があり、三瀬校区においては、三瀬校小・中学部を中心に公募を行いました。

これらに対して計72点の応募があり、三瀬村青少年育成村民会議の選考委員会が選考を行いました。その結果、右のとおり中学部及び小学部各5作品、合計10作品が選考作品となりました。選考された作品に対しては、三瀬村青少年育成村民会議から記念品が贈呈されました。

これらの作品は、今後佐賀市の選考を経て、優秀作品に選ばれば来年2月に表彰されることとなります。

三瀬校中学部

- 3年 唐川 由利 SOS 痛みに気づいて「大丈夫？」
- 3年 福島 茉宙 前を向け 明るい未来へ 走り出せ
- 1年 嘉村 眞仁 行っちゃダメ インターネットの 闇の中
- 1年 高島 拓人 ゲームより 家族で団らん 夏休み
- 1年 山本 寿 よくないよ かげで悪口 やめようよ

三瀬校小学部

- 6年 高増 陽馬 あいさつで 人の心が 開花する
- 4年 奥野 智津子 友達は 自分の大事な たからもの
- 4年 小副川 楓香 いただきます 命をいただく 合言葉
- 4年 高柳 春花 気づいてる? 1つの言葉で きずつくよ
- 4年 森田 空 ぼいすては かんきょうはかいの 始まりだ

三瀬公民館主催

花と緑を楽しむ教室

9月27日、有限会社中川シードの中川達也氏を講師に、19名の方が、三瀬公民館で、秋の花を楽しむ寄せ植え教室を受講しました。



講義では、正面から綺麗に見える「ボーダー式」と、どの方向からも楽しめる「ラウンド式」の植え方があることや、植える時の適切な土の分量等について学びました。実習では、準備された沢山の苗の中から好みの苗7本を選び、配置や配色について先生にアドバイスを求めながら、賑やかな様子で作業を進めておられました。参加者は、いずれも三瀬の豊かな自然の中で暮らしておられる方ばかりですが、本当に楽しそうで、自然を愛する方々ばかりだということがよくわかりました。

三瀬公民館・図書館三瀬館

防災月間に消防訓練 … 反復が大事

防災月間中の9月16日(木)三瀬公民館と図書館三瀬館合同で消防訓練を行いました。恒例の訓練とはいえ、改めて認識したのは、初期消火や119番通報、避難誘導等は何度も訓練して躊躇のないようにしておくことが大切だということでした。皆様も、火災時の対応はもちろん、災害時の避難場所や経路、移動要領等、いざという時の行動は、迷わないようにしておきましょう。



三瀬公民館主催

募集中

私の趣味展「収録公演」部門 出演者募集

10月30日(土)に開催予定の「私の趣味展」、今回は、恒例の作品展部門とともに歌や楽器、吟詠あるいは踊りや漫談などを収録して発表する収録公演部門も予定しています。ところが、これまでのところ出演者は僅かにとどまっています。そこで、収録公演部門の出演者をギリギリの10月22日(金)まで募集いたします。練習次第という方には、練習にお付き合いします。



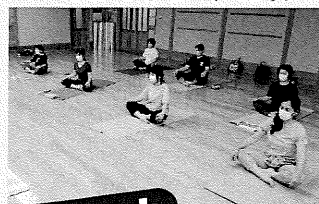
迷っておられるなら是非ご応募ください。

お申込み：三瀬公民館 ☎56-2003

三瀬公民館主催

本当の自分とつながる“ヨガ”教室「夜の部」

10月1日(金)ヨガ教室を開講しました。講師は三瀬を拠点に活動する森田真由美氏。よく耳にするヨガですが、実は運動でもパフォーマンスなどでもなく、自分の心と向き合う方法だそうです。初回は、ヨガのポーズを通して客観的に体の感覚を観察するテーマを体験しました。これから、どのような発見があるか楽しみです。



「昼の部」募集中

11月12日(金)より、ヨガ教室の昼の部として全3回の体験教室を実施します。
日 時：11月12,26日、12月10日各(金)10:00～11:30
お申込み：三瀬公民館 ☎56-2003



佐賀労働局

改定しました 佐賀県の最低賃金

令和3年10月6日から

1時間821円

 (改定前792円)

精皆勤手当、通勤手当、家族手当及び時間外労働等割増賃金は最低賃金に算入されません。

特定(産業別)最低賃金は、別途決定されますが、陶磁器・同関連製品製造業については、令和3年10月6日以降は、新たな陶磁器・同関連製品製造業の特定最低賃金が発効するまで、佐賀県最低賃金821円(1時間当たり)が適用されます。

詳しくは、佐賀労働局労働基準部賃金室 (0952-32-7179) または最寄りの労働基準監督署 (佐賀 0952-32-7133) へ

向こう一月間の

三瀬公民館及び校区の主な予定



- 10月 8日(金) 本当の自分とつながるヨガ教室 #2(三瀬公民館)
- 10月13日(水) 行政人権相談 (三瀬公民館)
- 10月15日(金) 本当の自分とつながるヨガ教室 #3(三瀬公民館)
- 10月16日(土) お話し会 (図書館三瀬館)
- 10月17日(日) 公民館休館日 (三瀬公民館)
- 10月17日(日) 佐賀市長・市議会議員選挙 (三瀬支所)
- 10月30日(土)～11月7日(日) 私の趣味展 (三瀬公民館)
- 11月 9日(火) 自治会長会定例会 (三瀬支所)
- 11月20日(土) 小さな拠点づくり勉強会(仮称)(三瀬公民館)

66年を経た文化の日によせて

かねてより三瀬は、緩やかな人口減少による「過疎地域持続的発展計画」の下にあり、先月、後継の新しい計画策定の最終会議が開かれたところです。因みに三瀬の人口は8月末で1,195人となっています。

三瀬の人口が3千人以上のピーク期にあった昭和30年11月に「郷土三瀬」の2頁程を割いて掲載された、当時の三瀬小学校長栗山義雄氏の「文化の日によせて」とする記事を見つけました。氏は大要として、文化とは、“自然”に相対するものであり、物であれ精神的なものであれ、より良い人や社会のために、自然界の人間にとって価値の無かったものを価値あるものに作り出す営みが、技術や慣習等の形になったものであるとの一般認識を示しつつ、戦後の国家建設とともに三瀬の生活文化の絶え間ない発展を力説されています。

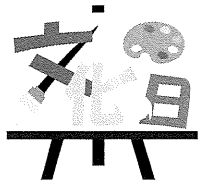
このような視点をもって考えたとき、昨今、折に触れ言及される三瀬地域の賑わいや地域活動の衰えは、単に行事個々の問題というよりは、暮らしやコミュニティーを日々良くしていこうとする住民お一人お一人の想いや力についての問いかけということになります。果たして三瀬にはそのような想いや力が無くなってしまったのでしょうか。否。色々な地域団体の方々が精力的に活動され、強い想いを持った個人の方も少なくありません。文化振興の力は息づいているのです。

では課題は何か。聞こえてくるのは、一つはその想いや活動が三瀬地域全体のものとなり一般の方々も力を注げるようになることにあり、今一つは、前掲の計画策定会議の締めくくりとして会議メンバーが共有した、「行政頼みではない自分達で主体的に取り組む姿勢」ということになるようです。そのような意味で、目下の「小さな拠点づくり」作業とともに「まちづくり」組織の議論の行方が鍵になると思われます。



令和3年の文化の日を前にして、このような認識が、地域をリードする方々から更に一般住民の方々の間に共有され、希望ある地域の動きへとつながり、それによって三瀬の文化が更に紡がれていくことを期待せずにはいられません。そして、当公民館は、社会教育施設として、そのような地域の方々の想いの共有や多くの方々の力の連携に、微力ながらお役に立ちたいとの思いを強くするばかりです。

三瀬公民館館長



市立図書館三瀬館からお知らせ

☆三瀬館・秋の読書週間開催します!☆

期間:10月26日(火)～11月13日(土)

<ヨムヨムツリー> リンゴの形のカードにおすすめる本を紹介したら、プレゼントがあります。

<雑誌付録プレゼント> 三瀬館で購入している雑誌の付録を抽選でプレゼントします。貸出の際に応募用紙をお渡します。1人1日1枚。期間中何回でも応募できます。

<ブックリサイクルコーナー>

三瀬館で不要になった本や雑誌をお持ち帰りいただけます。

※10月30日から開催いたします。

※新型コロナの感染拡大の状況によっては中止の場合もございます。

お問合せ先:図書館三瀬館 ☎56-2007

おすすめの新刊

『九十八歳。戦いやまず日は暮れず』



佐藤愛子 / 著

「戦いすんで日が暮れて」から52年。いまだ戦いやまず日は暮れず…。「算数バカの冒険」「小さなマスク」「釈然としない話」など、愛子節がたっぷりのエッセイを全21編収録。『女性セブン』連載を書籍化。

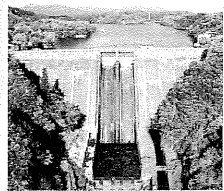
三瀬公民館主催

開催中

「北山ダムパネル展」

問題「北山ダムに流れ込んできた水は、全て嘉瀬川を流れて川上頭首工まで流れてきます。」
○ですか×ですか?

60年以上にわたり、大きな役割を果たしながら静かにたたずむ北山ダム。



そんな北山ダムの姿や役割を学びに公民館に来てください。この問いの答えがわかります。

*クイズでプチプレゼントをゲット